

議長（茅根猛君） 次，5番鈴木二郎君の発言を許します。

〔5番 鈴木二郎君登壇〕

5番（鈴木二郎君） 5番鈴木二郎でございます。議長にお許しをいただきましたので，通告順に従い，質問してまいります。

まず，1番目としまして污水处理計画についてお伺いをいたします。

公共下水道，農業集落排水設備施設等の污水处理の整備充実については，快適な生活環境の構築や公共用水域の水質保全を保つ上で大変重要である。地域住民のこれらの污水处理の整備に対する要望，期待，関心は非常に高いものがあります。現状，市内数カ所を確認しましたが，下水道の整備をされていない地域においては，日常生活において生活排水，污水处理は切実な問題であり，自然浸透あるいは用水路，排水路に放水していることが散見されているのが現状でございます。

特に，自然浸透式においては悪臭が発生し，雨天時，特に集中豪雨時には排水溝から污水があふれ，環境保全上からも衛生管理面からも計画的，重点的に整備していくことが必要であり重要と考えられます。しかしながら，この污水处理整備については多額の費用を要すること，人口が分散していること，整備の範囲が広いことなどから，污水处理普及率は低いのが現状と思われま

す。このため，地域市民からは，当町あるいは当地域の下水道はいつごろになるのか，いつまで待てばよいのか，計画予定を明確に示してほしいとの要望がございます。特に下水道の配管，基幹配管工事が行われている隣接の町内においては，近いうちにうちの町内も工事が行われるのではないかと期待感を抱いている人も少なくない状況でございます。とにかくいつになるのか明確にしてほしい，それまでは待ちたいということでございます。

そこで污水处理計画について2点ほどお伺いをいたします。

1点目としまして，公共下水道，特定環境保全公共下水道，農業集落排水施設，戸別合併処理浄化槽設置，それぞれの整備計画と普及率状況及び今後の整備の中期，長期計画について，どのように予定し考えておられるのかお伺いをいたします。

2点目として，中長期計画についての整備計画情報を開示し，地位の住民の皆さんに理解をしていただくことが大変重要でありかつ必要と考えますが，この対応施策についてお伺いをいたします。

次に，2番目としまして観光ルートの設定についてお伺いをいたします。

第5次総合計画，平成22年度から平成24年度の「人と地域の元気づくり」におけるふるさと発見周遊とにぎわいづくりの展開施策として観光ルートを設定し，広く多くの人々に常陸太田市の歴史や文化，観光，産業を知ってもらい，その魅力を十分に理解，堪能していただき，人が集まり人と地域の元気づくりをより効果的なものとするため，観光ルート設定数5コースが計画されておりますが，この観光ルートの設定の目的，考え方，コース内容等についてお伺いをいたします。

1点目といたしまして，この観光コースとして何コースが設定され，そのコースはどのような

ところなのか、また、その進捗、完成状況についてお伺いをいたします。

2点目といたしまして、今後の周遊観光ルートづくりをどのように考えているのか、その内容、ねらい、目的、ルート設定の基本的な考え方についてお伺いをいたします。

次に、3番目、図書館の広域利用取り決めについてお伺いをいたします。

生涯学習時代、そして高齢化社会を迎え、人々に求められているものは、人生を豊かに生きることではないでしょうか。また、情報化社会は子どもたちや大人にとっても活字離れ現象が顕在化し、自分で物事を判断したり考えたりする力、すなわち判断力や想像力が身につかなくなることや低下することが懸念されます。

このような現象に対して、本に親しみ読書することは、知的好奇心を助長し感性豊かな心と潤いのある生活を作り出すことや、子どもたちにとっては判断力や想像力を養う可能性を高めるとともに、思いやりや感性豊かな心が醸成されるなど大きな効果が期待されております。このようなことから、図書館の利用可能な図書の充実を図ることは大変重要であり、かつ必要なことではないでしょうか。しかしながら、この利用図書の充実、整備を進めることは、予算的にも厳しいことがあり難しいのが現状であろうと思います。

そこでその対応施策の1つとして、他の市町村との図書館の相互利用を進めていくことが非常に有効であると考えられます。他の市町村との連携を図り進めることは、各市町村にとっても住民サービスの向上やさまざまな面での地域活性化にもつながることが期待されるのではないのでしょうか。この図書館の広域利用の取り組み計画内容についてお伺いをいたします。広域利用の概要、取り組み状況及び現在の進行状況についてお伺いをいたします。

最後に4つ目でございます。子育て支援の整備充実についてお伺いをいたします。

少子化人口減少対策を重点課題として、総合的、計画的な子育て支援の充実に鋭意取り組んでおられるところでございますが、地域の働きながら子育てをしているお母さん方、あるいはお孫さんを預かるおばあさん方から強い要望として、放課後児童クラブの運営と未就学児の子どもと一緒に遊び、地域のお年寄りやいろんな方と交流したり、話し合いができる身近な広場の整備を図ってほしいとの声がよく聞かれます。この子育て支援のより一層の充実について3点ほどお伺いをいたします。

1点目は、放課後児童クラブの現状と未整備地区の拡充整備計画についてお伺いをいたします。

2点目といたしまして、現在対象としている学年は原則3年生までとしておりますが、夫婦共働き家庭において3名以上の児童がいる家庭では、高学年対応の希望も強く、やはり高学年まで対象とすることが必要と考えますが、6年生まで拡大できないか、その考えについてお伺いをいたします。

3点目といたしまして、幼児を初め未就学児の子どもと保護者、あるいは地域のお年寄りが容易に遊び、交流したり会話をしたりすることができる、住居の身近に空き地や休耕地を活用し広場を整備していただき、子育て支援と地域のコミュニケーションの場として設置していただければ、協働のまちづくりにも有効に活用することが期待できるものと考えられます。この広場の整備についての考えのご所見をお伺いをいたします。

以上をもちまして、1回目の質問といたします。

議長（茅根猛君） 午前の会議はこの程度にとどめ、午後1時まで休憩いたします。

午前11時58分休憩

午後1時00分再開

議長（茅根猛君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

答弁を求めます。建設部長。

〔建設部長 菊池拓夫君登壇〕

建設部長（菊池拓夫君） 汚水処理計画についてのご質問にお答えいたします。

最初に、各事業における整備概要についてでございます。まず、本市の下水道事業、農業集落排水事業、合併処理浄化槽設置整備事業及びコミュニティプラントを合わせました総合普及率でございますが、68.7%と県内44市町村中26番目であり、茨城県平均の76%、また全国平均85.7%を下回っている状況でございます。

続きまして、順次各事業の整備事業につきましてお答えいたします。

初めに、公共下水道事業でございます。昭和59年度より事業に着手し、平成2年4月に一部供用開始を行い、現在事業継続中であります。計画につきましては、全体計画面積が1,414ヘクタール、計画人口3万9,810人、目標年次を平成27年度とし、事業認可計画が661.1ヘクタール、計画人口2万2,685人、目標年次は平成23年度となっております。

進捗状況でございます。市街化区域の整備がほぼ完了しましたことから、平成18年度からは市街化調整区域の整備に着手をしております。平成21年度末で整備面積は485.0ヘクタール、整備率73.4%、処理区域内人口1万4,689人、普及率24.8%となっております。

今後の計画でございますが、現在の事業認可期間が平成23年度までとなっておりますので、次期事業認可の取得に向け協議中でございます。

次に、特定環境保全公共下水道事業でございます。平成13年度より事業に着手し、久米浄化センターが完成いたしました平成19年4月に一部供用開始を行い、現在事業継続中であります。計画につきましては、全体計画面積369.8ヘクタール、計画人口9,900人、目標年次を平成30年度とし、事業認可計画が170.4ヘクタール、計画人口5,820人、目標年次は平成25年度となっております。

進捗状況でございますが、平成21年度末で整備面積は84.7ヘクタール、整備率49.7%、処理区域内人口2,247人、普及率3.8%となっております。

今後の計画でございますが、金砂郷地区の大里町、薬屋町等の準都市計画区域を中心に整備を進めるとともに、水府地区の松平町、国安町の整備を計画しております。

次に、農業集落排水事業でございます。現在、常陸太田地区で2地区、金砂郷地区で3地区、水府地区で1区、里美地区で2地区の8地区において供用を開始しており、現在整備中であり、また佐都4地区につきましては、平成23年4月の供用開始を目標に事業継続中でございます。平成21年度末では、計画戸数201戸、接続戸数1,670戸、接続率83.4%、処理人口5,70

4人、普及率9.6%でございます。

今後の計画でございますが、佐都4地区の整備により全体で9地区の整備が完了いたしますので、今後は施設の維持管理を中心に運営していく考えでございます。

次に、戸別合併処理浄化槽設置整備事業でございます。平成11年度から里美地区で実施しており、平成20年度から対象区域を公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水事業、地域下水道の各計画区域を除く市内全域に拡大し、汚水処理施設の効率的な整備を推進しているところです。

整備状況につきましては、平成21年度末で設置完了が637基でございます。今後の計画につきましては、年間100基の整備を予定してございます。

次に、2点目の情報開示についてでございます。現在、市のホームページ及び市民生活ガイドに下水道に関する情報を掲載いたしまして、事業の周知に努めているところでございますので、ご理解を賜りたいと存じます。戸別合併処理浄化槽設置整備事業につきましては、年3回該当地区全域に戸別に募集チラシを配布し、事業を推進しているところでございます。

以上でございます。

議長（茅根猛君） 産業部長。

〔産業部長 江幡治君登壇〕

産業部長（江幡治君） 観光ルートの設定についてのご質問にお答えをいたします。

総合計画実施計画におきまして、平成24年度までに5コースを目標としております。現在2コースを設定しております。

1つ目は、里美の滝の散策に始まりまして、酒蔵めぐり、水府農産物直売所やこめ工房での地元産の旬の食材や特産品の買い物、かまどで炊いたコシヒカリの食事、そして和食に必須の調味料でございますしょうゆの醸造元での工場見学やみそづくり体験などを組み入れた周遊コースでございます。

2つ目は、西山荘周辺を散策するコースでございます。西山の郷桃源で車をおりまして、水戸光園公のゆかりの地西山荘、西山公園などの名所観光から歴史の薫り漂う鯨ヶ丘の街並みを散策し桃源に戻るといったコースでございます。

今後の観光ルート設定の考え方でございますが、本市特有の歴史や文化、豊かな自然、恵まれた農産物などの資源を生かし、交流人口の拡大と地域に経済効果をもたらすことのできるようなルートの設定に努めますとともに、既存のハイキングコースやエコミュージアムモデルコース、指定文化財集中曝涼などを積極的に取り入れまして、観光物産協会など関係機関との連携を図りながら魅力ある観光ルート設定に取り組んでまいりたいと考えてございます。

議長（茅根猛君） 教育長。

〔教育長 中原一博君登壇〕

教育長（中原一博君） 図書館の広域利用取り組みについてのご質問にお答えいたします。

現在、本市の図書館の利用につきましては、市内に居住または通勤、通学されている方を対象としておりますが、他市町村の図書館を利用することのできる広域利用が実施されれば、市民の

図書利用の拡充，利便性等の面から効果があるものと考えております。このため，現在本市と日立市，高萩市，北茨城市の4市が，県北4市公立図書館の広域利用に関する検討会を設置し，課題等を整理しながら図書館広域利用の早期実現に向けて検討をしているところでございます。具体的には，広域利用によるサービス内容や協定，市民への周知，貸し出し，返却の方法等について協議を進めております。

広域利用が実現されますと，通勤や通学の途中においても希望する図書館を利用することができたり，また4市の図書館における蔵書数を合わせますと，平成22年4月1日現在で，図書が107万4,774冊，視聴覚資料が2万9,291点であり，現在本市で所有する数のおおむね5倍となりますことから，借りたい図書などが借りやすくなり，また，交流人口の拡充も図られるものと考えております。一方，利用が広域的になることから，貸し出し分の返却の遅延などの問題点も心配されるところでございます。

今後，図書館の広域利用について，市民の皆様の声を反映し，常陸太田市立図書館協議会と十分協議しながら，県北4市での協議を重ねて円滑に実施できるように努めてまいりたいと考えております。

議長（茅根猛君） 保健福祉部長。

〔保健福祉部長 安田隆君登壇〕

保健福祉部長（安田隆君） 子育て支援の施策の中で，放課後児童クラブの拡充，整備についてのご質問にお答えいたします。

まず，放課後児童クラブの現状と未整備地区の拡充，整備計画についてでございますが，現在市内には，太田小学校区を初め，機初小，佐竹小，誉田小，世矢小，久米小の各学校区に6クラブを開設し，定員297名に対しまして，現在272名の児童が在籍しております。

今後の計画でございますが，来年度は西小沢小学校区に幼稚園舎を利用して開設の準備を進めております。

続きまして，放課後児童クラブの対象児童を6年生まで拡大できないかのご質問にお答えいたします。

現在の対象児童は，国が示しております放課後児童クラブガイドラインに沿って定めました市の放課後児童クラブ設置事業実施要綱に基づきまして，原則として小学校の通学を1単位として，小学校1年生から3年生までの低学年の児童としております。しかし定員に満たない児童クラブにつきましては，現在4年生の受け入れも行っております。ご質問の6年生までの受け入れを実施するためには定員の増加が必要になり，定員を増やすためには受け入れ施設の面積の拡大も必要となることから，現在開設しております施設においては困難であると考えており，当面は未設置小学校区の開設を優先した上で今後検討してまいりたいと考えております。

続きまして，広場整備についてのご質問にお答えをいたします。

子どもの遊び場，公園だけに限ったものではなく，自宅周辺の空き地や神社の境内など，身近な空間が遊び場として利用できる環境もあるものと考えます。校外には恵まれた自然の中に子どもの遊び場としてふさわしい環境が潜在しており，地域で魅力のある遊び場を提供するなど，子

育てを応援する環境づくりに取り組む際には、市としましては地域の取り組みをサポートできるよう努めてまいりたいと考えております。

議長（茅根猛君） 5番鈴木二郎君。

〔5番 鈴木二郎君登壇〕

5番（鈴木二郎君） ただいまご丁寧なご答弁ありがとうございました。2回目の質問に入らせていただきます。

1点目の汚水処理計画につきましては、全体の総合普及率状況、戸別の計画と進捗状況及び整備率、普及率の状況につきまして理解をいたしました。それぞれの事業について普及率、整備率の向上に向け、鋭意取り組んでおられることに対しまして、深く感謝、敬意を申し上げます。しかしながら、本市の全体の普及率、総合普及率を見ますと68.7%と、先ほどもありましたように県平均76%、国平均の85%に比べまだまだ低い状況にあり、より一層の汚水処理の整備充実に向けて取り組む必要があるものと考えております。

要望事項といたしまして、1点目でございますが、公共下水道につきましては、整備率は73.4%となっておりますけれども、普及率24.8%と低い状況にあります。整備充実に対し、先ほども1回目の質問でも申し上げましたが、市民の要望も非常に高く優先的に対応が必要と思われまます。予算的にも国の補助、市の予算も非常に厳しい状況にあるものと思っておりますけれども、ぜひ、次期事業認可の取得に向け鋭意取り組んでいただくよう強く要望するものでございます。

2点目としまして、やはり計画の予定、進捗状況は、未整備の地域の市民の皆さんには非常に関心が高く、汚水処理計画に関する情報を公開し理解をいただくことは大変大切であり、必要なことであります。先ほどのご答弁にもありましたように、現在市のホームページ、生活ガイド等に掲載して情報公開をしているということでございますが、やはり事業認可時点、あるいは今後の計画や整備完成状況を小まめにメンテナンス、更新を実施し、市の広報や出前講座等で幅広くいろんな情報を開示して、市民の皆さんに周知徹底していただくように要望いたします。

次に、2つ目の観光ルートの設定の概要につきましては理解をいたしました。

2回目の質問を1点、要望を1点させていただきます。

2回目の質問でございますが、活力ある常陸太田市を目指すためには、地域の特産資源を生かした交流人口の拡大や自然や歴史、文化遺産、そして産業を育成、整備し、人々が集い交流し、町の元気づくりを進めることが必須と考えております。このような中であって観光ルートは非常に重要であり、総合的、計画的な観光地、景勝地、道路の整備、さらに計画中の複合型交流拠点等の総合的全体計画の中で多くの人々の交流、来場者に来ていただき、にぎわいを盛んにするためには、その中で観光ルートを有機的にどのように設定するのか、すなわち全体計画の中でどうあるべきか検討が重要であると思っておりますが、この点についての検討はどのように考えておられるのかお伺いをいたします。

次に、要望事項といたしまして、周遊観光ルートを移動するための交通手段、駐車場、道路整備等は、観光コースとして大変重要な要素となっておりますが、これらについて、今後のコース作りにおいて、ぜひ検討しておいていただきますようお願いを申し上げます。

次に、3点目の図書館の広域利用拡大につきましては、取り組み及び推進状況について理解をいたしました。大変有効な施策であり、早期運用開始に向け関係市と協力連携し鋭意推進していただきたいと思います。

1点再質問させていただきます。今回4市の広域利用で大変大きな成果が期待されておりますが、さらにこれを他の近隣の市町村との広域相互利用を進めることによって、より大きな成果が得られるものと思いますが、この利用拡大についても今後の計画予定、あるいはまた考え方についてご所見をお伺いをいたします。

4つ目の子育て支援整備の1点目の放課後児童クラブの拡充整備計画につきましては、現在6クラブで開設しております、来年度西小沢学区に1クラブ開設予定で7クラブになるとのことですけれども、児童クラブに入ろうとする場合、現在在籍する小学校区の放課後児童クラブに可能でありまして、在籍のない他の学区の児童は入ることができない現状とのことでございます。学区に児童クラブのない父兄にとっては、児童を預けられずに対応に困っております。やはり公平な子育て支援サービスを行い、安心して子育てができるよう支援サービスの充実を図ることが重要であると考えます。

そこで1点質問させていただきます。学区単位に放課後児童クラブを設置できないかお伺いをいたします。

次に、要望事項として2点お願いを申し上げます。2点目の放課後児童クラブの対象児童の6年生までの拡大につきましては、定員の増加や利用フロア面積の拡大等の問題もあり難しさがあるとのことですが、県内の市町村で龍ヶ崎や取手市など5つの市で既に実施しております。石岡市は、この9月の定例議会で議決されれば、10月4日から4校で先行し、実施し、順次全小学校に拡大するとしております。ぜひ、常陸太田市においても拡大に向け、前向きに取り組んでいただきますよう要望をいたします。

また、3点目の子どもの遊び場の整備につきましては、地域が子育てを応援する環境づくりを進めることは、ハード、ソフト面において難しさがあるものと思われます。整備、実施に当たっては、課題、問題の解決の相談や広場づくりのノウハウや材料の支給等の支援、サポート体制の強化充実を要望するものであります。よろしくお願いをいたします。

以上、要望及び再質問を申し上げ、私の一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

議長（茅根猛君） 答弁を求めます。産業部長。

〔産業部長 江幡治君登壇〕

産業部長（江幡治君） 観光ルートの設定についての再度のご質問にお答えをいたします。

観光ルートの設定に当たりましては、先ほども申し上げましたように、歴史や文化などの本市の特有の資源を有効に活用することが大切であると考えてございます。

先月の東京中野区の宝仙寺前通り商店会の日帰り常陸太田ツアーがございました。その際にも本市特産の巨峰ブドウのブドウ狩り、西山荘見学、おいしいおそばの昼食、竜神大吊橋の見学、里美の滝めぐり、そしてペーハー値の高いぬく森の湯のコースということで設定をいたしてござ

います。

このようにルート設定に当たりましては、常陸太田市域全体の中で市全体の動きを踏まえまして設定してまいりたいと考えてございます。

議長（茅根猛君） 教育長。

〔教育長 中原一博君登壇〕

教育長（中原一博君） 図書館の広域利用取り組みについての2回目のご質問にお答えいたします。

県北4市以外の近隣市町村との相互利用につきましては、まず、県北4市での広域利用を実施し、その成果や課題等を見きわめながらあわせて検討してまいります。

議長（茅根猛君） 保健福祉部長。

〔保健福祉部長 安田隆君登壇〕

保健福祉部長（安田隆君） 放課後児童クラブの2回目のご質問にお答えいたします。

鈴木議員発言のとおり、公平な子育て支援サービスを行う観点から、放課後児童クラブの未開設校の小学区への設置を考えておりますが、以前実施しました保護者のニーズ調査から時間も随分経過しておりますので、再度調査を行い利用状況を把握し、利用施設などの実情も勘案しながら条件が整い次第順次開設をしてまいりたいと思います。